

平成14年度臨時総会

総務委員会

東北地質調査業協会の平成14年度臨時総会は、平成14年10月23日(水)に山形市内の「ホテルメトロポリタン山形」に於いて開催されました。会員総数97社の内、出席48社と委任状47社で過半数以上の出席が得られ、ここに総会成立を併せて報告致します。

臨時総会は平成14年度の事業と収支との中間報告の審議が主な内容であり、以下に概要を報告致します。



1. 宮川理事長挨拶

昨今の社会・経済情勢についてはかつて無いほどの大変な状態にある。

昨年来、協会は経費の削減と委員の若返り、多くの会員の協会活動への参加を基本方針として、いかに会員のプラスになる活動が出来るかを模索してきた。役員をはじめ、各委員や会員皆様のご理解の下に活動を進めることが出来たことに厚く御礼申し上げます。

特に、以下の内容を重点項目に掲げて活動を行ってきており、計画通り実行されております。

- 1) 会費の10%減額
- 2) 社会情勢に対応した委員会の統廃合と新設
- 3) 会員各社へのサポート(建設CALS/ECへの対応や検定試験・登録更新等)
- 4) 外部へのPR(ホームページの利用)

今後も国土交通省との意見交換会や登録更新講習会、全地連が新たに制定した土壌・水質汚染部門の地質調査技士の試験等々、まだまだ事業が残っていますので、皆様方の御協力をお願いいたします。

最後に、臨時総会の開催に多大なご協

力をいただいた山形の会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

2. 議事

議長：宮川理事長

議事録署名人：

(株) 光生エンジニアリング 庄子 満氏

(株) 東建ジオテック 工藤 良廣氏

(1) 平成14年度事業経過中間報告

「全国地質調査業協会連合会に関する事項」「対外関係に関する事項」については副理事長の土生田氏が報告し、「東北地質調査業協会に関する事項」については担当の各委員長が報告を行い、承認された。

(2) 平成14年度収支会計中間報告

収支会計については、事務局がほぼ計画通りに推移していることを報告して、承認された。

(3) その他

会員から協会を退会した会社に関連する質問が提出され、日栄地質測量設計(株)とライト工業(株)仙台支店であることを報告した。

総会終了後は、懇親会に席を移して和やかに開催された。宮川理事長挨拶の後、宴会は奥山紘一副理事長の歓迎の挨拶と乾杯発声で始まった。山形名物の「いも煮」「そば」、特産の「フルーツ」等が屋台に並び、銘酒・ワイン等のもてなしに舌鼓を打ちました。のど自慢とスピーチに時間も忘れるような宴会であった。最後は来年度の臨時総会開催予定の秋田を代表して、奥山和彦理事の三本締めでお開きとなりました。

総会から懇親会まで、企画・運営に多大なご協力をいただいた山形の会員関係諸氏に深く感謝申し上げます。